

第33回

経営に貢献する CAE セミナー

広島開催

製造業におかれましては、市場での生き残りを賭けて、製品の企画・開発プロセスのデジタル化を急速に進められています。中でも CAE の活用は大きな役割を担っています。このような状況に対応して、CAESEKI.com 事務局（富士通グループ）では、お客様に CAE に関する有用な情報をご提供すると共に、業種横断的な情報交流の場をご提供することを目的として、セミナーを開催しております。今回は（公財）ひろしま産業振興機構 ひろしまデジタルイノベーションセンターとの共催で、はじめての広島開催となります。

本セミナーでは、『経営に貢献する CAE』をテーマに開発プロセスの革新とともに、CAE の活用により経営に貢献されているお客様にお願いいたしまして、取り組み、効果、IT 技術への一層の期待などを、ご紹介頂く予定です。

セミナー概要

日時

2017年 **12月1日（金）**
13:00～19:30（受付開始 12:00,懇親会含む）

参加費

無料（懇親会を含む）

主催

■ CAESEKI.com 事務局
■ 公益財団法人 ひろしま産業振興機構
ひろしまデジタルイノベーションセンター

定員

200名

会場のご案内

会場

サテライトキャンパスひろしま 広島県民文化センター 5階大講義室（広島市中区大手町1丁目5-3）
<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/accessmap.html>



■ 路面電車（広島電鉄）

- 広島港行「本通り」下車，徒歩約5分
- 西広島行，江波行，宮島行「紙屋町西」下車，徒歩約3分

※ ご来場の際は、最寄りの公共交通機関をご利用下さい。

お申し込み

お申し込み

以下の〔個人情報の取扱いについて〕に同意いただいた上、下記 URL にアクセスして申込フォームに必要事項を入力してお申し込み下さい

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/5995>

お問い合わせ

CAESEKI.com 事務局 担当 瀬戸山
TEL : 092-260-6224 E-mail: seminar@caeseiki.com

〔個人情報の取扱いについて〕

お客様の個人情報は、富士通株式会社、富士通グループ会社、（公財）ひろしま産業振興機構及びひろしまデジタルイノベーションセンターが以下の目的で利用させていただきます。

- ・本セミナーに関する連絡および開催当日受付、その他円滑なセミナー運営に必要な事項の実施
- ・名札の作成
- ・イベント・セミナーの開催情報や製品・サービス情報のご案内（電話、e-mail、DM 等）

当日は情報交流促進のため、名札を着用いただきますのでご承知おきください。富士通グループ会社、（公財）ひろしま産業振興機構、ひろしまデジタルイノベーションセンターに個人情報を提供するには、契約により適切な管理を義務付けた上で E-mail 等で提供いたします。同意いただけない場合は、大変申し訳ございませんが、本セミナーのお申し込みはできません。情報の開示・訂正・追加・削除および利用停止を希望されるお客様は以下にご連絡ください。

〔個人情報に関するお問い合わせ〕 富士通株式会社 TC フロンティアセンター 担当 小田島 Tel: 043-299-3240 E-Mail: seminar@caeseiki.com

CAESEKI.com[®]

講演プログラム

13:00～13:10	「CAESEKI.com 事務局よりご挨拶」 株式会社富士通九州システムズ エンジニアリングソリューション本部長代理 南 康雄	
事例講演 I	「自動車業界を取り巻く環境の変化と求められる CAE の方向性」	
13:10～13:55	<p>自動車業界を取り巻く環境は今大きく変化しています。性能のさらなる進化要求に加え、電動化や自動運転車などクルマそのものの変化や複雑化、IoT を背景に単に車を作って売るビジネスからカーシェアリング等の新しいビジネスへ転換など、世界中の自動車 OEM が生き残りをかけて対応を模索しています。そうした中で開発の重要なツールである CAE については今後どのような事が求められるのか？ 弊社の考えと取組みについて紹介させていただきます。</p>	<p>株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター デジタル開発推進室 上席研究員 川辺 俊 様</p>
事例講演 II	「ジヤトコにおける開発者 CAE への取組の現状と今後」	
14:00～14:45	<p>従来弊社では開発者の考えた仕様の成立性を解析専任者が CAE を使って検証するといった分業制を取ってきたが、昨今課題の複雑化・システム化、さらには開発期間の短縮が進み、分業の限界が見えてきた。</p> <p>そこで開発者が自ら CAE を使って成立性の検討と検証のサイクルを手早く効率良くまわす「開発者 CAE」に取り組んでいる。</p> <p>今回は、弊社における開発者 CAE への取組事例と今後について紹介する。</p>	<p>ジヤトコ株式会社 システム開発室 課長補佐 寺田 幹夫 様</p>
14:45～15:00	「ひろしまデジタルイノベーションセンターのご紹介」 ひろしまデジタルイノベーションセンター 所長 安藤 誠一	
15:00～15:30	休憩（デモ展示）	
事例講演 III	「モバイル携帯端末の開発と CAE の活用」	
15:30～16:15	<p>携帯端末事業は年 2 回の商戦期に新製品の上市を行うという短期間の開発を求められている。</p> <p>一方でコモディティ化した携帯端末事業で競争力を上げるためには、ネットワークキャリアや市場の動向をモニターしながら最新の技術を搭載した商品をタイムリーに市場に投入しなければならない。</p> <p>CAE の活用方法を工夫し少ない投資で開発効率を向上させているので、その中からスマートフォン開発での活用術を 2 例ご紹介する。</p>	<p>シャープ株式会社 IoT 通信事業本部 システム開発部 部長 野口 幹史 様</p>
事例講演 IV	「材料モデルベース開発に基づくマツダのモノづくり革新」	
16:20～17:05	<p>自動車のエネルギー効率、乗り心地、走行安定性などの性能を飛躍的に向上するための革新材料をスピーディーに開発することがこれまで以上に求められている。そこで、電子・原子・分子スケールまで踏み込みモデル化（材料モデルベース開発：材料 MBD）を行い根本のメカニズムから機能をコントロール可能にすることで、自動車性能向上（商品力強化）を目指している。本講演では、材料 MBD 適用によるモノづくり革新の考え方と自動車開発への適用事例(ゴム/プラスチック製品)を紹介する。</p>	<p>広島大学大学院工学研究院 教授 甲斐 裕之 様</p>
17:05～17:20	「CAESEKI.com 事務局からのお知らせ」 富士通株式会社 テクニカルコンピューティング・ソリューション事業本部 TC フロントセンター	
17:45～19:30	懇親会 吉山ビュッフェ（広島県民文化センター地下 1 階）	

* 本セミナーは技術の研修を目的とするものではありません。

* プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。